

# スマホによる人体の発達と 身体への影響

## ・ テーマに関する課題

テーマに対して浮かび上がって来た課題は「スマホと共にどのようにして向き合っていくのか。」というものである。この課題を解決するために私たちは「スマホが体に与える影響」をテーマに設定し、スマホについて深く知ることによってスマホと向き合うための糸口を見つけていきたい

## ・ 研究の目的

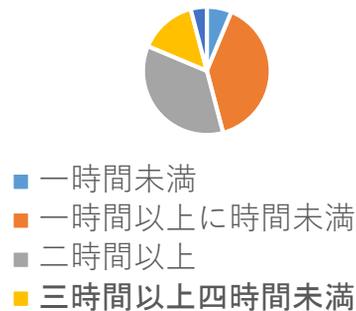
私たちの研究の目的は、普段当たり前に使っているスマホがどのような影響を私たちにもたらすのかを知り、その利用方法を見直すためだ。また、スマホのどういった点が、どのように悪影響を及ぼすのかを細かく研究し、改善策を具体的に考えるためである。

私

## ・ アンケート調査とその結果

スマホの利用時間（48人対象）

スマホの利用による変化
連絡が取りやすくなった
TVの利用時間が減った
情報を手に入れやすくなった
視力の低下
学習時間が減った
スマホ依存症になった



## ・ 先行調査を通して

先行調査を行ってスマホの利用に関しては、様々な問題や「諸現象が存在する事がわかった。身近な問題としては食事中、トイレ中、あるいは友人や家族との会話中などいつでもスマホを使ってしまういわゆる「スマホ依存症」だ。日本には病的なインターネット、またはスマホ依存症だと考えられている人が全国で93万人いることが推計されている。この事実にはだれもが目を背けられないだろう。また、全国の高校生を対象にしたところ、調査の結果からいくら家庭学習をしてもスマホの利用時間が長い生徒は成績が下がる傾向にあることが分かった。

## ・ 参考文献

ケータイ社会白書 NTTドコモ 2019年  
平成26年度情報通信白書 総務省 2014年